高梁川流域圏 町家・古民家で紡ぐ魅力拠点づくりと技術伝承事業

現場に貼って使える

応急対応シート

目　次

作業をする時の服装 …… 001

注意事項 放っておいた床や壁はこうなる … 002

注意事項 壁の裏の断熱材 …… 003

注意事項 筋交いは、大切です …… 004
現状のまま残してください

注意事項 貫は、大切です …… 005
現状のまま残してください

床下の清掃 和室 …… 006

床下の清掃 洋室 …… 007

汚泥を除去し、洗浄・消毒をする …… 008

カビを防ぎ、床下を乾燥させる …… 009

電気・水道・ガスが復旧する前に …… 010

このシートは、現場に掲示するなど必要に応じてご使用ください。

＜使い方＞

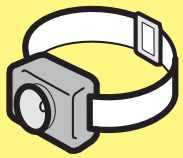
1. 必要なページを切り離します。
2. テープ、画鋲、クギ等で貼付けます。

**基本的にリフォームを行うための作業として書かれています。
また、工法等については一般例として紹介しています。
ケースバイケースで他に有効な方法もありますので、よく分からない
場合は専門家に相談してから着手してください。
解体が前提の撤去作業であれば、この限りではありません。**

倉敷市 ・ (一社)岡山県建築士会倉敷支部

作業をする時の服装

- 水害後の現場は汚物・泥の付着や漂着物等があり、家屋の損壊部等（クギやとがった木材他）によるケガの危険性があります。
- 頭部はヘルメット等で守り、作業着は長袖が基本です。（熱中症対策は十分に行うこと）
- 靴はクギなどの踏み抜きやつま先保護のため「安全靴」を使用してください。（長靴等で代用する場合は、事故防止のために、クギ等の踏み抜き対策済みのインソールを必ず使用すること。）
- 手袋は、水気がある場合はゴム手袋、そうでない場合はゴム引きの軍手が使い良いです。最近は防刃手袋もありますので、ガラス類を扱う時はゴム手袋や軍手の下にはめておくと安心です。



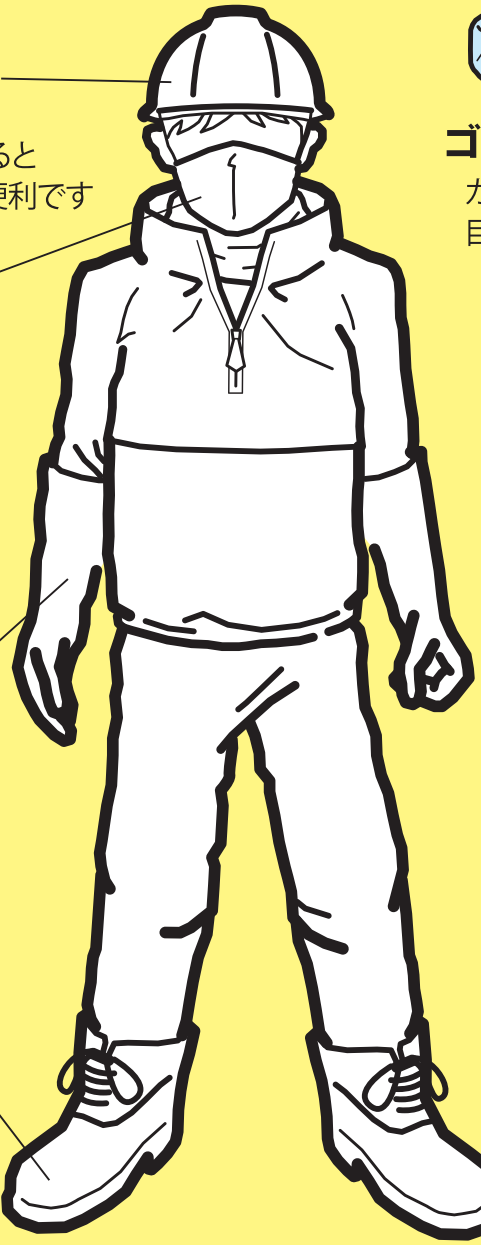
ヘルメットや帽子・タオル

ヘッドライトがあると床下等の作業に便利です



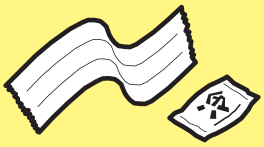
ゴーグル

カビの除去や部材の消毒の際に目をまもる（防塵用）



マスク

必ず防塵用マスク（国家検定品）DS2タイプ以上 又は、防塵マスクN95タイプを使用する



熱中症に注意 !!

※気温が高くなくても汗をかいているのなら要注意！



ゴム手袋

なかに綿手袋をはめるとムレにくい

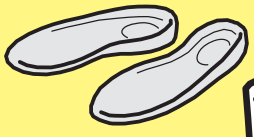


スポーツドリンク
塩飴など



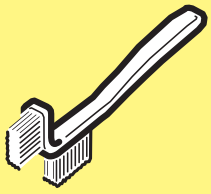
水分補給、うがい、手洗いはこまめにしっかりとしましょう

安全靴





長靴の場合クギなどの踏み抜き防止用にインソールがあると安心です



びん洗い用のL型ブラシがあると隙間などの掃除に便利です

グループで作業する時にあると良い道具

・高圧洗浄機（ケルヒャーなど）　・発電機
・スコップ、一輪車、ホース、バケツ、棒タワシ（デッキブラシ）竹ホウキ、工具や大工道具一式

注意事項

カビを防ぎ、床下を乾燥させる

放っておいた床や壁はこうなる

- 汚泥のたまった床をそのまま放置すると、後で床下から異臭がするようになります。
- 一見、何の被害もなさそうな壁も、中を開くとカビだらけになっていたりします。
- 放置すると住宅の使用木材の劣化が進みます。



壁をはがすとカビが生えている



水が残って悪臭が発生する



乾燥した汚泥も悪臭の原因に



壁に生えたカビ

注意事項

カビを防ぎ、床下を乾燥させる

壁の裏の断熱材

● 壁の裏や床下の断熱材は洗浄・乾燥・消毒の妨げになるので、そのまま放置しない。
特に繊維系の断熱材（繊維系：ロックウール、グラスウール、セルロースファイバー、インシュレーションボード）などは水を吸収しやすくカビが生えることがある。
浸水部の上部（15～30cm程度）から下をすべて撤去する。
場合によっては全撤去する。



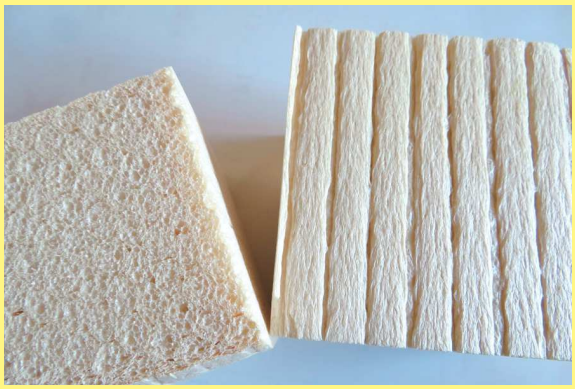
ロックウール



水を吸った断熱材



グラスウール



インシュレーションボード

※繊維系断熱材（グラスウール等）の取り扱いには、
中身が細かいガラス繊維のため注意する。

注意事項

- 作業する時はマスクとゴーグル・めがね保護具を着けてください

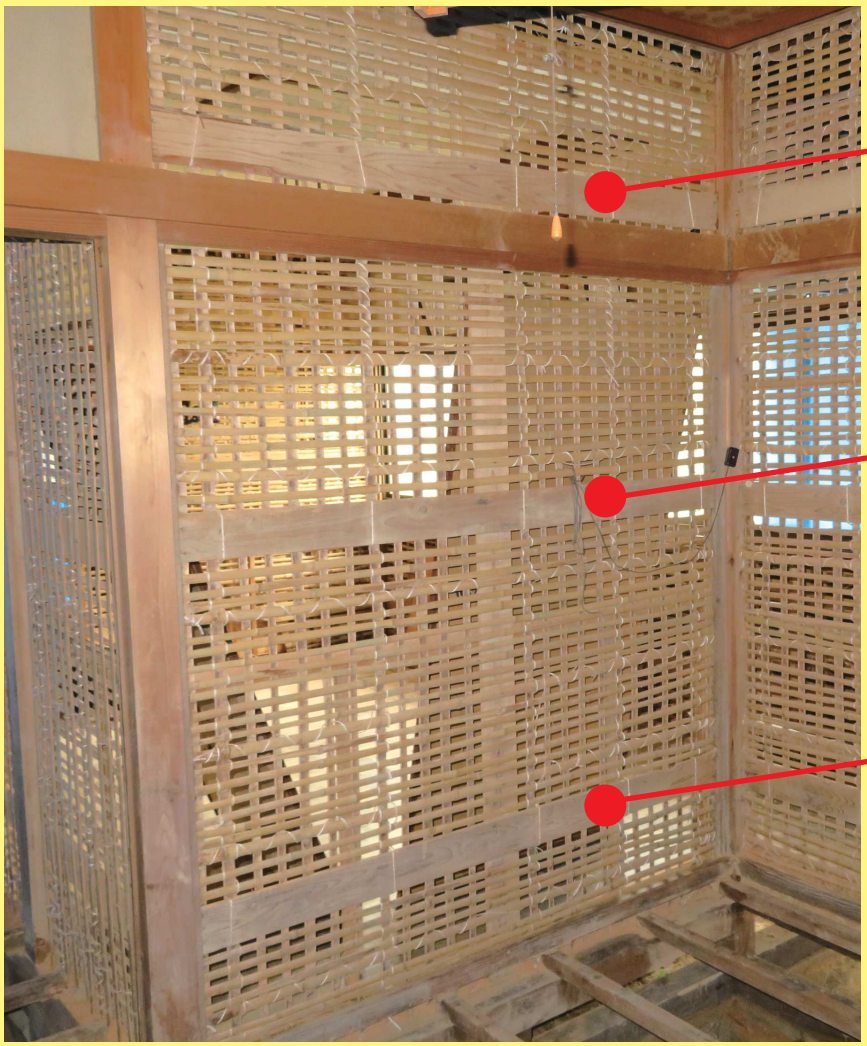
筋交(すじか)いは、大切です。
現状のまま残してください。



注意事項

- 作業する時はマスクとゴーグル･めがね保護具を着けてください

貫（ぬき）は、大切です。
現状のまま残してください。
※貫は4本の場合もあります。



※壁土は再利用できる場合もあるので、廃棄する前に
専門家に相談することをお勧めします。

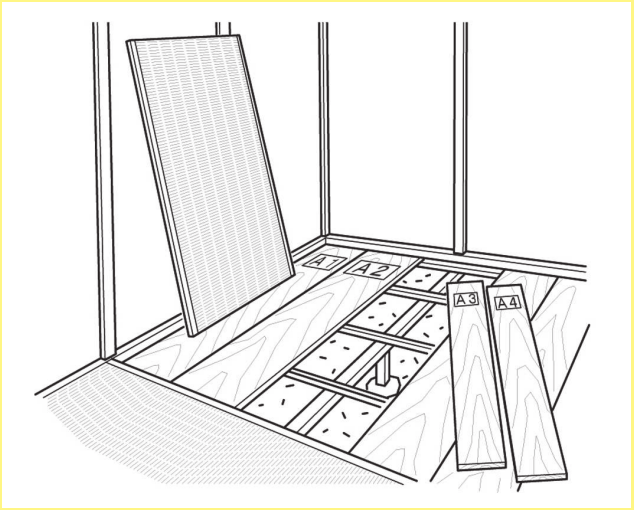
床下の清掃 和室

床はがし 目的:床下の泥出しと消毒

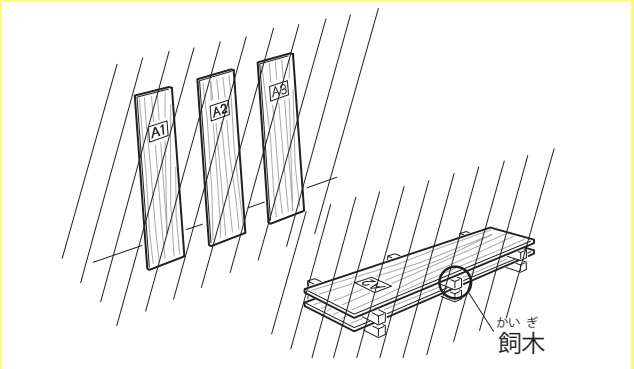
- 作業する時はマスクとゴーグル・めがね保護具を着けてください

1 **床下浸水の場合**は、まず畳を上げて下地板の状態にする。畳は使えるので、畳を上げる際に敷いてあった位置がわかる様に印をつける。**床上浸水の場合**は、畳は撤去処分する。下地板が無垢板（自然木）の場合と合板類の場合で板をはがす手順が異なる

2-1 下地板が無垢板の場合

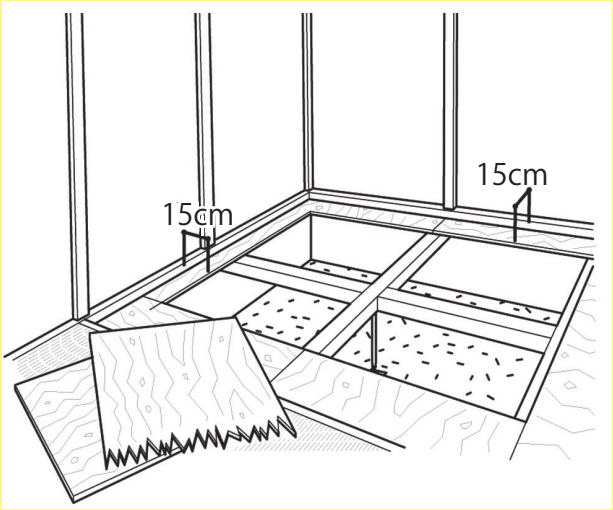


下地板が無垢板（バラ板：一枚一枚のもの）の場合は、端から順に番号を振っておく（ガムテープなどを貼って、その上に書くと良い）

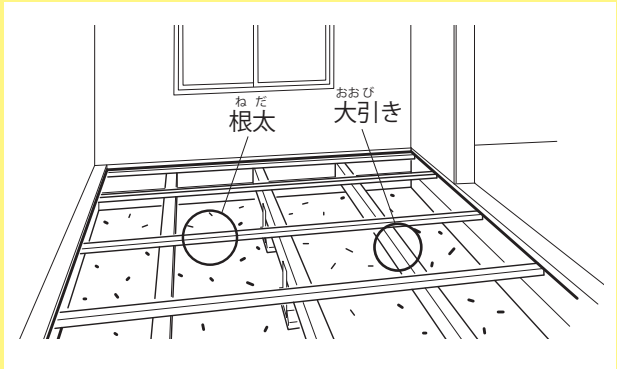


3 丁寧に剥がし、日陰などに立てかけて保管します。
（やむを得ない場合は積み重ねても良いですが、水分を含んでいる場合、水平な場所に飼木を置いて通風を確保してください）

2-2 下地板が合板の場合



下地板が合板の場合は、壁の端から15cm程度の位置でカットし撤去処分する。ただし、畳寄せ等、合板を抑えている部分が無ければカットせず、全て剥がしても良い。

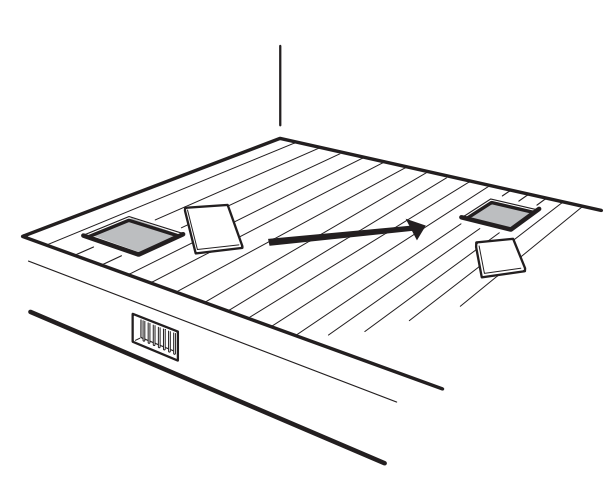


4 大引きや根太だけの状態になったらできるだけこのままで、床下の泥出しをしてください。どうしても作業が難しい場合や、根太や大引きの劣化（腐り、蟻害、折損等）がひどい場合は、根太、大引きの順に取り除いてください。
（良く分からない場合は、建築士等の専門家に聞いてください）

床下の清掃 洋室

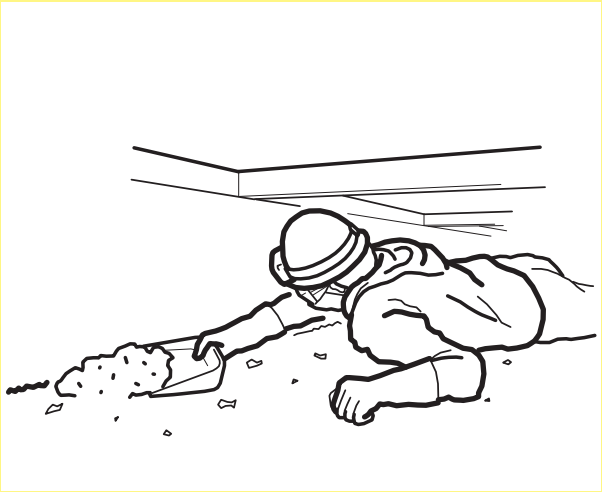
（フローリング・じゅうたんの部屋）

- 作業する時はマスクとゴーグル・めがね保護具を着けてください



1

基礎の通風口の近くに、床下の点検が可能な程度の開口部を作り、対向線上にもう一つ同じものを作る。



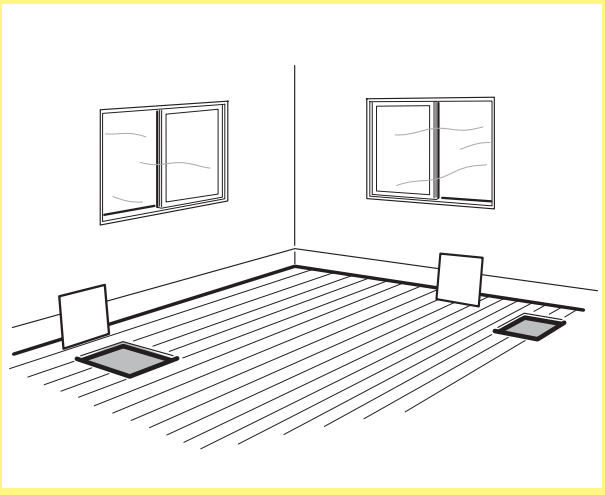
2

床下に人が入れる場合は、慎重に泥を出す。泥は、できるだけ取り除く様にすること。



3

その後、清水できれいに泥を洗い流す。必要に応じて基礎通風口を活用すると良い。



4

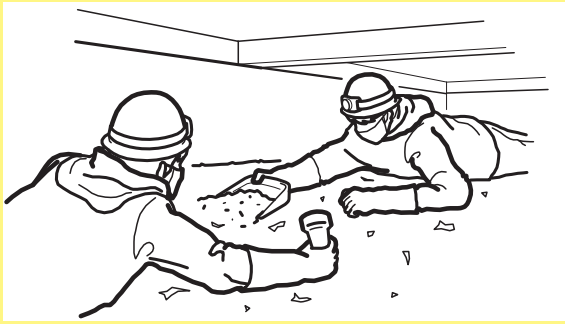
清掃が終了したら、消毒して最低でも2～3ヵ月（夏場）は乾燥させる。（自然乾燥の場合）

※木材の表面が乾いても、内部はまだ湿っていることがあります。扇風機などで強制乾燥させる場合は、この限りではありません。

汚泥を除去し、洗浄・消毒をする

● 床下に水が入った場合、水を抜いてから泥を取り除きます。掃除したあとは、床下に消毒剤をまくようにします。
時間が経つほど、水分が湿気となりカビや異臭の原因になります。できるだけ早く作業に着手するようにします。





床下に入るときは
換気をし、安全確保
のため、2人以上で
作業する。

床下の消毒によく使われる消毒剤

● 逆性石けん（ベンザルコニウム塩化物）
「オスバンS」が代表的な商品名。床下には100～200倍にうすめて噴霧する。
原液を素手でさわらない。

● 屋外（通常屋外の消毒の必要はないが、動物の死骸や腐敗物があれば使う。
・クレゾール石鹸　・オルソ剤
・消毒用エタノール等

● 消石灰（しょうせっかい）
床下の土に1畳につき茶碗2杯程度を撒く。
素手でさわらない。撒きすぎないようにする。
また、飛散しない様に適度に湿らせておく。

● 汚水に浸った床、木材、樹木等
・塩化ベンザルコニウム　・塩化ベンゼトニウム
・消毒用エタノール等

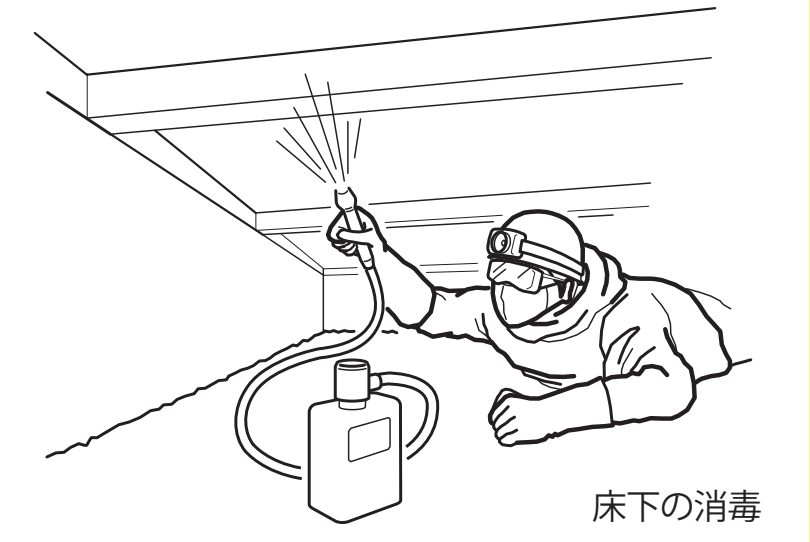


消石灰の袋

カビを防ぎ、床下を乾燥させる

消毒用エタノールの塗布

- 床、壁、天井などに消毒用エタノール（80%溶液）をスプレーし、そのまま乾燥させる。
- 家具などに使うときは目立たないところで色落ちしないか確認する。
- 換気をよくし、火気を使わない。
- 壁も水を吸っているので、中を確認する。
- 床下の水分を乾燥させるには最低2～3ヶ月以上かかる。（自然乾燥の場合）
- 樹脂シートやプラスチック部材などの合成樹脂類には、使用しない。



床下の消毒

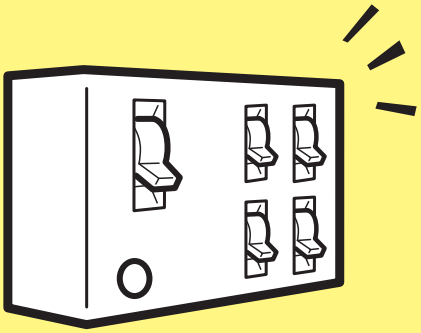


柱や壁下地に霧吹きで消毒用エタノールをスプレー

電気・水道・ガスが復旧する前に

電気(ブレーカー)

- 水害の後にブレーカーが落ちていたら、どこかで漏電しているかもしれないため、電力会社に相談する。
- 避難などで家を離れるときはブレーカーを切っておいてください。



落ちている場所があったら
漏電の可能性もあります
無人になる場合は必ずブレーカーを落とします
(スイッチをOFFにする)

水

- 水道復旧直後は、水が汚れている場合があるので、しばらく流します。
- 井戸水は、水質検査が終わるまで飲まないようにしてください。
- 浄化槽の場合は、トイレや風呂を使う前に業者に点検を依頼してください。

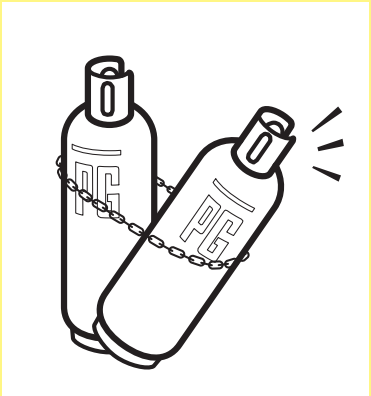


しばらく流す

ガス

- 元の位置から動いてしまったプロパンガスのボンベは、復旧をする前に業者に点検を依頼してください。

※ガス(都市ガスを含む)は使用する前に必ず供給元の点検を受け、安全に使用できるかどうかを確認することが必要です。



現場に貼って使える

応急対応シート の使い方

1. 必要なページを切り取ります。



2. テープ、画鋲、クギ等で貼付けます。



（一社）岡山県建築士会倉敷支部「応急対応シート」冊子作成委員会

2020年　3月31日　第1版
2020年　7月　7日　第2版
2020年　7月14日　第3版